

質問 恩田議員（自民 山口市）令和8年3月13日（金）

1 「Discover GIFU」の今後の展望について

答弁 知事

本県を訪れる外国人宿泊客は、中国からの渡航自粛の影響を受けつつも堅調に増加をしております。令和7年速報値で約199万人と過去最高を更新をいたしました。中でも、議員ご指摘のとおり、欧米、そしてオーストラリアからの旅行者の割合は東海4県で最も高い26%を示しており、世界各地から誘客を進めてきた本県のインバウンド施策の成果が、着実に表れているものと認識しております。

その一方で、議員ご指摘のとおり、観光客が一部地域に集中していることや、一人当たりの旅行消費額が全国平均を下回っていることから、「県全域への誘客」拡大と、より付加価値の高い「稼ぐ観光地域づくり」を目指していく必要があると考えております。

県はこれまで本県へのインバウンドを強力に推進するため、昨年5月に訪日旅行者向け体験商品「Discover GIFU」を、40本の販売を開始し、世界11の国・地域での旅行博や商談会に出展するなど、積極的なプロモーションを展開してまいりました。

また新たに、「季節の野菜の収穫・調理体験」、これは郡上市でございまして、「大自然の中で心身を整える屋外サウナ体験」、先ほどご紹介いただきました山口市でございまして、農業・林業分野と連携した20本以上の商品を造成し、販売を開始したところでございまして。

これに加えて、更なる販路拡大に向けて、「ランドオペレーター」と呼ばれる、海外旅行会社からの依頼を受けて日本国内での外国人旅行者の行程を手配する旅行会社に対し、ツアー行程に「Discover GIFU」のコンテンツを組み込んでもらえるよう働きかけを行ってまいりました。

これらの取組の結果、「関の刃物づくり」や「中山道ハイキング」などのコンテンツが実際の予約へと結びついており、商品造成から販売までの一連の流れが構築されつつあると実感しているところでございまして。

今後は、大きく二つのテーマに取り組み、県内誘客の更なる発展を図ってまいります。

一つ目は、「コンテンツの充実」です。豊かな自然環境を有する本県には、まだ十分に活用されていない体験型の地域資源が数多く存在しております。

そのため、県内42市町村全てに対して、アウトドアを切り口とした新たな体験型資源の掘り起こしや、インバウンド向けの磨き上げを促すとともに、屋外アクティビティに不可欠なトイレ、そして駐車場などの受入環境整備に対し支援を行い、体験メニ

ューの充実と満足度の向上を図ってまいります。

二つ目は、「旅行者移動コストの軽減」でございます。議員ご指摘のとおり、地方では公共交通機関に限られるため、タクシー等の移動費用が商品価格に上乗せされ、大都市圏と比較して割高になるということが課題となっております。こうした課題に対し、国においては一定条件下で道路運送法上の許可がなくても「通訳案内士」が外国人旅行者を送迎できるよう要件の緩和が行われたところでございます。

こうした制度の見直しを受けまして、岐阜県では全国に先駆けて「安全実施マニュアル」を整備し、研修を実施することで、安全を確保し、移動の利便性向上とコスト低減を図ってまいります。

こうした取組を通じ、岐阜県独自の体験型資源の魅力を世界へ発信し、周遊観光と観光消費額の拡大を図ってまいります。

担 当 課	観光誘客推進課
電話番号	058-272-8360
メ ー ル	c11336@pref.gifu.lg.jp